



令和7年1月28日（火）発行 1月号 題字 校長 （やちほあい）

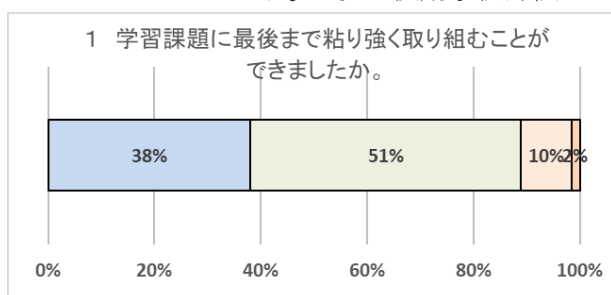
誰もがもつ自分の良さを開花させるには

校 長

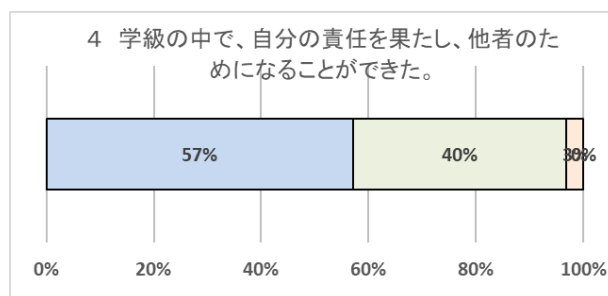
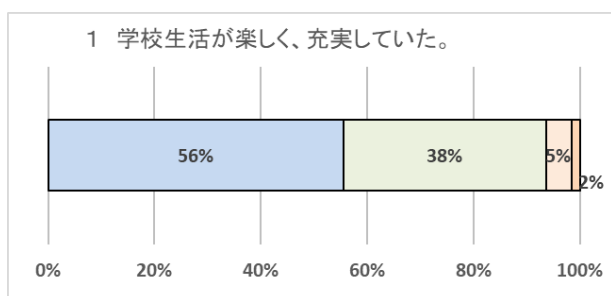
1月21日、元プロ野球選手のイチローさんが、米国野球殿堂入りしたというニュースが全国をにぎわしました。取材に応じるイチローさんの言葉の中に、私が非常に心を引き付けられた言葉がありました。「僕なんかと比較にならないくらい、才能にあふれた人がいっぱいいる。でもその才能を生かすも殺すも自分自身。自分の能力を生かす能力はまた別にあるということを知っておいてほしい」という言葉です。イチローさんより才能にあふれた人がいっぱいいるというのは謙遜かもしれませんが、「自分の能力を生かす能力はまた別にある」という言葉に目からうろこが落ちました。

私は「誰もが自分の良さをもっているのに、その良さをうまく開花できる人とできない人がいる」ということではないかと感じました。私も何となく感じていたことをイチローさんが言葉にしてくれたように思いました。

私は以前から、自分に自信をもち、自分は他者の力になっていると感じる「自己有用感」の大切さを訴えてきました。学習活動や学校行事を通し、生徒に「自己有用感」を育んでほしいと考えて教職員と地域保護者が連携して生徒を支援してきました。「自己有用感」はまさに「自分の能力を生かす能力」の土台ではないかと思います。生徒の後期学校評価では「学習課題に最後まで粘り強く取り組んだか」は89%、



「学校生活が楽しく充実していた」は94%、「自分の責任を果たし他者のためになることができた」は97%の肯定的評価がありました。これまでの教育活動は概ね順調ですが、データに現れにくい声を拾い上げるよう今後も保護者地域と連携を深め生徒を支えていきたいと思います。本年もよろしくお願いします。



1年生が「こどもへの暴力防止講座」を受講

1月17日（金）、1年生は暴力防止講座を受講しました。これは、上越市男女共同参画推進センターの出前講座として開催されました。講師はCAP・じょうえつの方です。CAPは「Child（子ども） Assault（暴力） Prevention（防止）」の三語の頭文字です。子供が暴力から自分を守るために組織された全国的な団体です。講師から「暴力にはどのようなものがあるのか」や「被害にあったときどのように対処すればいいのか」について話していただきました。

講座を聞いた生徒は「暴力は思ったより身近なものであることを学び、いろいろな視点からの暴力があると思いました。暴力で人を傷つけないようにしたいと思います」などの感想を述べ、暴力に対して意識を高めお互いを尊重する心を育んでいました。



保健委員会が栄養教諭、調理員に感謝のメッセージ



1月20日から24日は上越市の学校給食週間でした。ご当地献立や地元献立をつくり、給食週間を実施していた栄養教諭や給食調理員に感謝の気持ちを伝えようと、保健委員会が生徒と教職員の感謝メッセージをとりまとめました。全校生徒と教職員が小さな紙に「自分の好きな給食のメニュー」と「感謝のメッセージ」を書き、大きな模造紙に保健委員が貼り付けました。保健委員の代表が調理室前で調理員さんに直接感謝を伝え、メッセージを手渡ししました。給食献立から学ぶ機会を今後も生かしていきます。

2年生修学旅行に向けて～事前学習が本格的にスタート～

2年生は3月17日（月）から19日（水）までの3日間、関西方面へ修学旅行を実施します。ねらいは、日本の歴史的な文化財と現代の施設に触れ、日本の歴史・文化への理解を深めることと、集団行動や社会のルールを学び、責任感と相互理解を深めるということです。

12月より事前学習が本格的にスタートしています。1日目はコース別で大阪、2日目は班別で京都、3日目は全体で奈良において研修を行う予定です。24日（金）は学級で2日目の班別自主研修コースを考えました。班に分かれて京都の文化遺産などを調べ、ますます興味関心が高まりました。31日（金）には旅行社が来校のうえ、助言を受けて班別研修コースを完成する予定です。

上国連の書き初め作品を校内展示

国語の授業で練習し、冬休みの課題でもあった上越国語教育連絡協議会（上国連）の全校生徒の書き初め作品を多目的室に展示しました。登校後、上着のコートを掛ける際に全校生徒が仲間の力作を鑑賞しています。なお、1年生は学年で審査会に出品しています。

